

# 施設概要

(令和2年4月1日現在)

施設名 <b>西白井コミュニティプラザ</b>		開館時間 午前9時～午後9時	
所在地	〒270-1408 白井市西白井2-16-1	併設施設	なし
TEL	047-497-5771	FAX	047-497-5772
メール	<a href="mailto:mail@nishishiroi.jp">mail@nishishiroi.jp</a>		
休館日	火曜日・祝日 12月29日～翌年1月3日	駐車場	敷地内30台（内、2台障害者専用 7台縦列スペース）
職員構成 30年4月現在	センター長1名（非）事務職2名 保育士2名（業務委託）夜間管理3名 合計8名		
貸出施設	1時間あたりの施設使用料（社会教育認定団体は2分の1）		
	施設名	定員	9:00～21:00
	調理室	24名	720円
	和室1	18名	250円
	和室2	18名	
	会議室1	30名	350円
会議室2			
会議室3			
付帯設備 机4台・椅子24脚・調理器具 食器一式・炊飯器・スチームオーブン レンジ・可動式キッチンカウンター ホワイトボード 座卓・座布団・舞台（和室1のみ） ※各部屋6台・24枚ずつ 机・椅子 ※各部屋10台・30脚ずつ 大型スクリーン（会議室1） 備付ホワイトボード（会議室1・3） 可動式ホワイトボード・可動式演台 卓球台・麻雀卓			
※営利目的使用の場合は、上記料金の3倍となります。			
その他施設	子ども室（定員16名）、2色刷印刷機（ティールグリーン・ブラック）、作業台1台、多目的ロビー（円卓3台／椅子12脚、子ども用机2台／椅子8脚、長机2台／椅子6脚）		
貸し出し可能備品	<b>【館内限定】</b> TV・プロジェクター・DVDプレイヤー・HDMIケーブル・延長コード・CDラジカセ プロジェクターワゴン・ワイヤレスマイク2本・アンプ・可動式ホワイトボード スポーツミラー		

## 平成31年度 公民館等団体別利用状況 (西白井コミュニティプラザ)

種別	青少年		成人		女性		高齢者		その他		個人		合計	
	月	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数
4													0	0
5													0	0
6													0	0
7													0	0
8													0	0
9													0	0
10	0	0	14	123	0	0	0	0	5	61	10	50	29	234
11	0	0	23	194	0	0	0	0	17	199	11	73	51	466
12	8	195	28	295	0	0	0	0	16	241	21	200	73	931
1	3	44	33	378	2	38	0	0	20	223	14	63	72	746
2	5	86	21	130	0	0	0	0	5	34	8	43	39	293
3	5	86	26	196	0	0	0	0	3	40	14	128	48	450
合計	21	411	145	1,316	2	38	0	0	66	798	78	557	312	3,120

### 平成31年度部屋別利用件数・利用人数

部屋名	利用件数(件)	利用人数(人)	年間利用率(%)
会議室1・2・3	11	380	3
会議室1	119	894	15.5
会議室2	30	259	3.9
会議室3	39	464	6.3
和室1・2	24	165	3.3
和室1	49	384	6.8
和室2	16	166	2.9
調理室	24	408	5.6
合計	312	3,120	

# 平成31年度 西白井コミュニティプラザ 事業報告

- 白井市が目指す将来像（第5次総合計画基本構想から）  
「ときめきと みどりあふれる 快活都市」
- 目指す将来像を実現するために（第5次総合計画前期基本計画から抜粋）
  - 戦略1 「若い世代定住プロジェクト」
    - ・ゆとりある暮らしを支えるまちづくり
    - ・子育てしたくなるまちづくり
  - 戦略2 「みどり活用プロジェクト」
    - ・みどりが価値を生み出すまちづくり
    - ・みどりがつながるまちづくり
  - 戦略3 「拠点創造プロジェクト」
    - ・地域拠点がにぎわうまちづくり
    - ・拠点がつながるまちづくり

これらのプロジェクト（まちづくり）を実現するため、①「つどう」②「まなぶ」③「むすぶ」④「つくる」⑤「さがす」の公民館の代表的な5つの機能を生かした事業展開を行いました。

## 1. 運営方針

平成31年度 西白井コミュニティプラザ事業計画に基づく

### 全体の運営方針

～市民が集まりやすい場所をつくるために西白井コミュニティプラザの周知活動とソフト面の充実を図る～

- ・子供達が学校以外の交流を深められるように「場」の提供づくりをサポートする。
- ・地域企業／団体に対して西白井コミュニティプラザの魅力を積極的にアピールする。
- ・民生委員の常駐により、常に住民が抱えている課題をタイムリーに相談できる窓口を開設する。相談内容により、公共窓口への連携、民間専門窓口への相談等々、住民の困りごとに対して、スピーディーな解決を実現する。

## 2. 西白井コミュニティプラザ 講座等実施報告

### (1) 事業

対象	事業名	回数	参加人数
市民相互交流 や地域コミュニ ティの創造 に関する事業	ハロウィンイベント	1回 (6日間)	延べ 約50人
	卓球大会	1回	6人
	クリスマスイベント	1回	約20人
	自習室開放(中高生限定)	12月2日 より毎日(休 館日を除く)	延べ 195人

### (2) 情報の提供

- ・西白井コミュニティプラザで実施する事業の情報提供  
(広報しろい、ホームページ、コミプラだより、市内公共施設に掲示、チラシ配布)
- ・「コミプラだより」を近隣自治会で回覧

### (3) 施設の提供

- ・利用者の平等性を重んじ、公平な貸館業務を徹底
- ・利用者からの意見・要望を可能な限り反映し、利用しやすい施設/設備の提供
- ・市民相互の交流や地域コミュニティ推進のための「オアシス」になるような場所の提供

### (4) その他後援事業

- ・特になし

事業活動

事業名	西白井コミュニティプラザ ハロウィンイベント (1) フォトスポット設置および館内装飾 (2) 菓子の配布		
対象	(2) 主な対象者：市内小学生以下児童・幼児（保護者）（自由参加）		
参加人数	(2) 延べ約50人		
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティプラザオープン初年度につき、地域住民の認知度が低い。</li> <li>・館内壁面およびロビーガラス面が殺風景で温かみに欠ける。</li> </ul> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントを行うことで地域住民に楽しみながら施設を知ってもらい、コミュニケーションプラザの報知、利用促進を図る。</li> <li>・館内装飾を施し、家庭的な温かみを出す。</li> </ul>		
期間	令和元年10月	回数	1回
場所	多目的ロビー		
事業参加者等への配慮等	<p>(1)・手で触れて誤って怪我等をしないよう、装飾物は折り紙で作成した。</p> <p>(2)・幼いお子さんが食べることが考慮し、口だけの速いラムネを配布した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なるべく多くのお子にも配布できるよう、「1日1人1個」のルールを設けた。</li> <li>・個包装の空き袋は、希望があれば事務所にて回収し、ポイ捨てを予防した。</li> </ul>		
事業の成果（課題や目標に対して）	<p>(1) ハロウィンフォトスポットについては、小さなお子様から大人の方まで、広い世代の方々に楽しんでいただけた。今後もコミプラの年間行事として取り入れ、引き続き地域の方の憩いの場として提供したい。</p> <p>また、館内のいたるところに手作りの装飾物を施したことで、アットホームな空間を演出することが出来、子どもたちからは「毎日来る！」という声がたくさん聞かれた。</p> <p>(2) ハロウィン企画をしていることを報知する術をうまく見出せず、周知しきれないうまま期間が過ぎてしまった。</p>		
備考			

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	10月中  10月26日 ～31日	<p>(1) フォトスポット設置および館内装飾 館内にフォトスポットを設置し、壁面をバックに記念写真を撮れる空間を提供した。また、自由に使用できるハロウィン変装グッズも準備した。</p> <p>(2) 菓子の配布 配布期間中に事務所窓口に「トリック・オア・トリート」と声を掛けてくれた方に、ラムネを配布する。ただし、1日1人1個とする。</p>	<p>住民相互の交流、来訪者の家庭での思い出づくりに寄与する。</p> <p>来館する子供たちとコミュニケーションをとることで、コミュニケーションの存在に感じてもらい、困ったときに迷わず駆け込める場であると感じてもらおう。</p>

事業活動

事業名	西白井コミュニティプラザ 令和元年度第1回卓球大会	
対象	市内在住・在勤者（事前申込制）/小学生以上は子供だけの参加可	
参加人数	6人	
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議室で卓球ができることを知る人が少ない。</li> <li>・レクホールのないコミュニティプラザでも卓球ができることを周知し、利用促進に繋げる。</li> </ul>	
期 間	令和元年11月10日	回数 1回
場 所	会議室	
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館の床とは違い、非常に滑りやすくなっているため、参加者には事前に注意喚起を行った。</li> <li>・子どもさんが卓球台の下にもぐらないように目を配り、ネット金具下には椅子を配置し怪我の防止に努めた。</li> </ul>	
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント自体に興味を持つお子さんは多く、窓口にも複数人から「やりたい！」と申し出があったが、保護者への確認をしてから申し込んでもらうように案内したところ、大半が実際の申込みまでには進まなかった。</li> <li>・大人からも数件問い合わせはあったが、一人で申し込むには敷居が高いようで、今回は参加を見送る方が多かった。</li> <li>・参加人数は多くないが、コミュニティプラザに卓球台と道具があるという周知活動には確実に繋げることができた。家族や友人同士で気軽に楽しめるという宣伝効果はあり、その後卓球台を利用される市民が増加した。</li> </ul>	
備 考		

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	11月10日	コミュニティプラザが備品の卓球セットを利用し、トーナメントを実施した。	手ぶらでも卓球ができるよう、貸出備品がある旨を報知し、利用促進を図る。また、参加者相互の交流を図り、仲間づくりに寄与する。

事業活動

事業名	西井コミュニティプラザ クリスマスイベント (1) 館内飾り付け等 (2) サンタクロース登場 (3) 文房具の配布 (写真撮影者限定)		
対象	主な対象者：小学生以下児童・幼児 (保護者) (自由参加)		
参加人数	約20人		
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティプラザの認知度は上がってきたが、実際に館内に入らず、遠巻きに見ているだけの住民が多い。</li> </ul> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・季節のイベントを行い、足を運んでもらうことで、コミュニティプラザを身近な存在に感じてもらう。</li> </ul>		
期間	令和元年12月22日	回数	1回
場所	多目的ロビー		
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日は朝のうちから入り口付近に設置したスピーカーからクリスマスソングを流し、遊びに来ている子どもたちにもサンタが来ることを周知した。</li> <li>・イベントが始まる前にはスピーカーをロビーに移動し、より広い範囲に聞こえるよう工夫した。</li> <li>・サンタクロースに会うのを心待ちにしている子どもたちの気持ちを大切にするため、サンタクロース登場の演出には細心の注意を払った。</li> <li>・配布する文房具 (ステイックのり) は、雰囲気を出すために一つずつ折り紙で作ったブーツに包み、ラッピングした。</li> </ul>		
事業の成果 (課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小さいお子様から大人の方まで、楽しそうに写真を撮ったり、サンタクロースと触れ合ってくれていた。</li> <li>・企画から実施までの期間が短く、周知の仕方が不十分だったため、子どもたちは少なかったが、その分時間をかけて一人一人がサンタと触れ合うことができたので参加した子供たちは満足そうだった。</li> <li>・次回は広報にも掲載し、より広範囲の方に足を運んでもらえるようにしたい。</li> </ul>		
備考			

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	12月中	<p>(1) 館内飾り付け等 館内にフォトスボットを設置した。手に持つフォトスボットも作成し、自由に何度でも記念写真が撮れるようにした。</p> <p>(2) サンタクロース登場</p> <p>(3) 文房具の配布 (写真撮影者限定) サンタクロースから直接手渡されるクリスマスプレゼントなので、文房具を一つ一つ包装し、リアリティを出すよう努めた。</p>	小学生以下児童・幼児 (保護者) を主な対象とし、サンタクロースの登場およびプレゼント (文房具) により西井コミュニティプラザの報知、利用促進を図る。また、写真撮影スボットを設置し、住民相互の交流、来訪者の家庭での思い出作りに寄与する。

事業活動

事業名	西白井コミュニティプラザ コミプラ自習室		
対象	市内在住 中学生		
参加人数	延べ195人		
事業の課題と目標 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学生の居場所づくり</li> <li>・ 静かに学びたいと願ってもその環境を得難いため、コミュニティプラザで勉強できるようにしてもらえないかという声が複数あった。</li> </ul>		
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同じ志を持つ者同士で切磋琢磨し、自身の目標に向けて努力してもらおう。</li> <li>・ ルールを遵守する大切さと信頼に応える意志の強さを養ってもらおう。</li> </ul>		
期 間	令和元年12月～令和2年2月	回数	毎日 (休館日除く)
場 所	会議室/和室		
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の趣旨を正しく理解してもらうため、保護者への説明を行った上で、利用上の注意を遵守することに同意を得た場合に限り利用者証を発行した。</li> <li>・ 一日の受入人数を先着10人からスタートしたが、利用希望者が増えたため、市と協議し、20人に増員した。</li> <li>・ 自習室提供中は扉を開放し、自然に中の様子が伺えるようにしたが、集中力を途切れさせないように、暖簾を掛ける工夫をした。</li> </ul>		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用する中学生はマナーも良く、利用後は自主的に部屋の清掃をしていた。</li> <li>・ 毎タコプララに来ることが日課になり、友人たちと一緒に学ぶことで勉強が楽しくなったという声もあった。</li> <li>・ 受験生においては、希望校に合格したという嬉しい声を届けてくれた。</li> </ul>		
備 考			

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等 (内容)	事業のねらい
1	令和元年 12月2日 ～令和2年 2月27日 17時から 20時まで	<p>休館日を除く毎日、17時から20時にコミプラ自習室を開放する。</p> <p>事前登録した中高生が事務所窓口で利用者証を提示し、名簿に記入後に入館。入退館時は時刻を記入する。</p> <p>職員は定期的に館内を見回り、趣旨を逸脱した利用をしていないかなど確認する。</p> <p><b>【定員】</b> 先着10人→20人に変更</p>	<p>近隣在住の中学生・高校生から勉強できるスペース・時間の拡張を多数要望されたため、自習室として、会議室（または和室）を開放し、勉強環境を提供する。</p>